

平成 29 年度東京都立つばさ総合高等学校経営報告

1 今年度の取組と自己評価

(1) 教育活動への取組と自己評価

① 学習指導

「学力向上推進プラン」の着実な実行と自学習習慣の定着により、基礎基本の徹底と学力の伸長を図った。朝学習の発展、小テスト・宿題・課題の頻出、夏季講習・補習等の充実に努めた。特に、夏季休業中を中心に全教員一人10時間以上の補習・講習の実施に努めた。また、10月よりオンライン学習システムを導入したこともあり、スタディーサポートの結果では、学力は英語をはじめとして上昇傾向であり、自学習時間も増加傾向にある。生徒による授業評価においては、授業満足度は高いが、予習・復習が十分でない状況も明らかになった。1年次・2年次全員が「漢字検定」及び「英語GTECテスト」を受験し資格取得・検定合格への意欲を高めた。

3年次（第14期生）は、232名が卒業できた。最大修得単位数88単位以上修得生徒が200名を超えた。

資格・検定や技能習得の奨励については、「漢字検定」2級に12名、「英語検定」2級に18名、準2級に45名、「ビジネス文書実務検定」2級に9名、準2級に43名合格し、学外による学習単位として認定した。他にも全国商業高等学校長協会の「簿記実務検定」2級2名、3級12名合格、商工会議所簿記検定試験3級5名合格した。「講道館柔道」初段15名、福祉科の「手話技能検定」合格者、「知的障害者移動支援従業者養成研修」修了者、「全身性移動支援従業者養成研修」修了者、「同行援護従業者養成研修」修了者等も合わせて102名でている。消防庁救命講習修了者が227名いる。

② キャリア教育

4年制大学進学希望者が60%を超えている現状を踏まえ、3年間を見据えたキャリア教育全体像の改善を進めた。各種補習・講習（放課後・土曜日・長期休業中）、AO入試対策、推薦進路研究、個別指導の充実などに組織的に取り組んだ。1年次の「産業社会と人間」、2・3年次の「総合的な学習の時間」の内容及び指導体制を充実させ、1年次職場訪問、2年次上級学校訪問等の効果的な接続を図った。1年次「職業人インタビュー発表会」2年次の「修学旅行事前事後学習発表会」3年次「課題研究発表会」を実施することができ、実践報告書や研究要旨集も発行できた。

センター入試や一般受験者の増加を踏まえ、城南進学研究社講師によるガイダンスや複数の予備校の模試を実施し、大学進学指導力の向上を図った。

進路実績として、大学では、電気通信、富山、高崎経済等の国公立大、早稲田、明治、青山学院、法政、国学院、成城、武蔵、北里、麻布、明治学院、日本、東洋、駒澤、専修、亜細亜、東京農業、東京経済、目白、芝浦工、神田外語、城西、神奈川、立正、大正、帝京、文教、了徳寺、桜美林、関東学院、東京都市、桐蔭横浜、日体、日女体、多摩美術、東京造形、日本社会事業、産業能率、酪農学園、日本獣医生命科学、実践女子、清新女子、鎌倉女子等の上位・中堅大学に多数合格している。

専門学校では、都立荏原看護、城西放射線技術、桑沢デザイン等に合格している。
就職は、民間事業所に7名、川崎市、警視庁の公務員合格者2名もいる。

③ 生活指導

全教員で、挨拶、身だしなみ、授業態度等、基本的な生活習慣の確立と学校規律の向上に取り組んだ。身だしなみ指導については、男子のシャツだしや、女子のスカート丈等の制服着装について、改善の必要がある。SNSの不適切使用や校内の物損等があり全校集会や学年集会を開催し問題行動の防止に努めた。遅刻者を減少させることができず課題として残った。

保健主任及びスクールカウンセラーを中心に、生徒一人一人の相談体制の充実を図った。1年次は全員面接を実施し、いじめ、不登校、問題行動等の未然防止に努めた。特別支援教育委員会やいじめ対策委員会を開催し、気になる生徒への対応策を協議し、問題の芽を早期に摘む努力をした。いじめの疑いがあった際には学年集会やアンケート調査等を実施し問題拡大を防止した。特別指導件数は4件に抑えることができたが、一方で遅刻者が多く、改善策を講じる必要がある。

④ 健康づくり

生徒の健康づくりについては、保健環境部を中心に、SCや専門医を交えた特別支援教育委員会を毎月開催し、不登校や発達障害等、課題のある生徒への積極的な関わり方を研修し、実践を行ってきた。いじめ対策委員会は必要に応じて招集し、SCの協力を求めつつ課題解決に向けた具体的な取り組みを迅速に行った。適宜、保健講話、熱中症防止講話等を開催した。

⑤ 特別活動

部活動においては、陸上競技部は関東大会に出場した。個人では男子走り高跳びで高体連2級取得者や400mでU20日本選手権に出場した者がでた。バドミントン部は工業高校大会団体戦で女子が6連覇、個人戦女子シングルス優勝、女子ダブルス優勝、新人戦東ブロック大会で女子が第3位になった。吹奏楽部は東京都吹奏楽コンクールで銅賞、東京都高等学校アンサンブルコンクールで複数の銀賞を受賞した。演劇部は少人数ながら地区大会で奨励賞を受賞した。ダンス部は羽田・萩中ふれあい祭りや職業能力開発センター大田校技能祭等で熱演し称賛された。福祉部は地域のイベントに多数参加し、近隣の方々から喜ばれた。

その他、多くの部活動が地域小・中学校との交流練習に励むとともに、スポーツゴミ拾い等のボランティア活動に参加・協力しており、大田区長や羽田特別出張所長をはじめ、近隣住民の方から多数感謝の言葉が寄せられた。

飛翔祭（体育祭）では平日にも関わらず500人以上の保護者が詰めかけ、銀翼祭（文化祭）は2800人の来場者で賑わった。奏翼祭（合唱コンクール）やウイングカップ（球技大会）では、学級ごとで協働する姿勢が養われ、相互に競い合い、高めあう態度も育むことができた。

⑥ 特色ある教育活動

都立高初のISO認証校として、すべての教育活動で環境教育を推進し、省エネ、再利用、再資源化に努め、ISOサーベイランスにおいて優良の評価を得た。環境施設見学会は2回実施できた。高校生環境サミットin Tokyoも今年度で第14回を数え、充実した内容の発表とともに、大学生、民間企業、NPO団体等を含めたポスターセッションでは活発な意見・情報交換等が展開されるなど交流が深まった。銀翼祭（文

化祭)をカーボン・オフセットする等、昨年から導入した取り組みも定着し、新たにプロバスケットボールの試合会場でごみ分別、省エネ、再資源化等の呼びかけを行うボランティアも始まった。環境省主催の環境教育実践力強化研修の会場招致にも成功し、関係生徒が発表や審査員を務める大きな活躍があった。

大田区姉妹都市である中国北京市朝陽区への短期留学に代表2名の生徒が参加し、中国語や中国文化を学び、全校集会でその成果を発表した。

⑦ 募集対策活動

本校の特色及び総合学科教育の理念・特色を、学校説明会、出張授業、中学校や塾訪問などを通して積極的に発信し、募集対策の充実を図った。生徒の学習活動の様子や作品を積極的に公開し、生徒の生き生きとした姿を伝えた。学校ポスターや学校案内の表紙にも生徒作品を採用した。また、HPの更新速度を上げるとともに、SNSを導入し、ツイッター(公式)により、生徒の活躍等をタイムリーに紹介した。

推薦入試においては2.54倍、学力検査においては1.34倍の応募倍率があり、都立高校や総合学科が厳しい状況の中、善戦した。高大接続改革への具体的な対応策をPRするなどが功を奏して応募者を確保できた。しかし、目標値には届かず、一層の広報活動の工夫が課題である。

⑧ 学校経営・組織体制

開校以来16年目を迎え、系列やキャリア教育の在り方等、本校のこれまでの総合学科としての課題を整理するとともに、学校の教育活動全般の課題解決に向けた検討を行い、再編した系列、「美術・デザイン」「国際・コミュニケーション」「科学・技術」「スポーツ・健康」「生活・福祉」が充実してきた。希望進路に応じた自分だけの時間割で学んでいくことを指導した結果、科目履修相談期間は活況を呈した。全学級、二者及び三者面談等によりの確な履修指導と進路指導の充実を図った。

新学習指導要領への対応として、学校のグランドデザイン作成にむけた校内研修の実施や教育課程委員会の活性化を図っている。

⑨ 防災教育

本校は、湾岸・河岸に位置する環境であるため、防災教育を推進する学校と捉え、防災教育の充実を図った。全校生徒が津波を想定した避難訓練を実施するなど、特色ある防災教育を展開している。2年次は地域消防署及び蒲田消防団第五分団と連携した学校での宿泊防災訓練を実施し、自助・共助・公助の精神を学び、消防庁救命講習修了証を取得した。

⑩ その他

第5回東京都立総合学科高等学校教育活動成果発表会に総合的な学習の時間(課題研究)で参加し、3年次女子生徒が「色彩がもたらす効果について」の演題で調査・研究成果を発表するとともに、自身の作品を披露し称賛を頂いた。

(2) 重点目標への取組と自己評価

(◎：大幅達成、○：達成、△：やや未達成、×：大幅未達成)

NO	項目	内 容	評価
1	学習指導	学力向上推進プランの実行と学力向上 自学習の充実	○
		漢字検定や GTEC 等の実施を通じた国語力や英語力の向上	◎
		各教員が長期休業中を中心に一人 10 時間以上の補習・講習の実施	○
		各種資格受検や技能習得の奨励	◎
2	キャリア教育	本校のキャリア教育全体像の策定	○
		「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」の発表会実施	○
3	特別活動	各種行事の充実 対外試合の結果等、部活動の成果	○
		「つばさ総合高校としての部活動」の検討と共通理解作り	○
		部活動と規律と自学習のバランス良い高校生活	△
4	環境教育	ゴミの分別等、ISO 活動の成果、高校生環境サミットの充実	◎
		「全教員の環境授業年 1 回以上」の取組と節電対策等の実施	○
		環境授業の充実、カーボン・オフセット等の新たな取り組み	◎
5	家庭・地域	全学年全生徒対象年 1 回の三者面談・保護者面談	◎
		部活動地域貢献の拡充 地域小中学校等との連携	○
		PASTA との連携	◎
6	募集対策	学校説明会での生徒の活動を紹介する取組	◎
		入選倍率を推薦 3.0 倍、学力検査 1.4 倍以上	△
7	経営・組織	防災教育を推進する学校の円滑実施と防災対策の充実	○
		系列や教育課程の一層の充実	○
		事務管理・運営の効率化と安全で快適な学校環境の維持	○

2 次年度以降の課題と対応策

課 題	状 況	方 策
「キャリア教育」の充実 大学進学希望者増加への対応	3 年間を見通したキャリア教育の充実を進めている。増加する大学進学希望者への受験指導の充実を進めている。	「産業社会と人間」「人間と社会」「総合的な学習の時間」を中核として、すべての教育活動で行うキャリア教育の充実。教育相談の充実やファインシステム本格稼働による的確な履修指導・進路指導。
自学習習慣及び学力向上と基本的な生活習慣の確立	自学習習慣の充実。学力スタンダードの実施。小テスト・宿題・課題の頻出。講習・補習の実施。スタディーサポート、漢検、GTEC、模試等の実施。 定期的な身だしなみ・遅刻指導を実施しているが、生活指導方針の共通理解が十分とはいえない。	朝学習の充実。スタディーサポートの有効活用。模試の活用。クラッシュの導入。各種資格・検定機会の増加。読書活動の推進。ファインシステム及びクラッシュの稼働率向上。 生活指導方針の共通理解と共通実践。

特色ある教育活動の充実（環境教育・その他）	ISO14001 認証校について、ISO 委員会等、関係する生徒の意識は高いが、一般生徒への浸透が課題。校内美化や省エネ等には協力的、今後、一層積極的に取り組む姿勢・態度を求めたい。	環境授業の充実。魅力ある高校生環境サミット・講演会・施設見学会を企画し、一般生徒参加奨励。ごみ処理や清掃の徹底等、美化意識の高揚と省エネライフの推進。カーボン・オフセット事業の拡大。新たな環境活動の開発。
特別活動の活性化	部活動や行事の充実化と地域貢献の一層の活性化を図り、自主・自律・自治力を向上。	部活動の実績向上。行事への集客数向上。部活動年1回地域貢献の奨励。生徒主体の企画・運営による各行事・部活・委員会活動の活性化。
募集対策の更なる充実	入学者選抜の応募倍率上昇を目指し多様な広報活動で、受験者数の増加を図る。	学校見学会、学校説明会、出張授業、学校訪問、学習塾訪問等の充実。魅力的なHPの更新。高校授業料無償化制度に対応した広報活動の開発。
総合学科教育理解の促進	総合学科教育の理念の共通理解・共通実践が課題。	総合学科教育成果発表会等への関心を高める。校内研修の実施、関係資料等の配布。研究大会、学校視察、都総研への参加。
家庭との連携	全学年3者面談実施。PASTAとの連携は順調、きめ細かい家庭連絡。	各行事、募集対策、成果発表会等での連携強化。学校理解促進。クラッシュを活用した家庭連絡、情報提供。
危機管理、防災	定期的な避難訓練。地域と連携した宿泊防災訓練の実施。	様々な災害を想定した避難訓練。宿泊防災訓練の一層の充実。消防庁救命講習修了証の全員取得。